

「平成26年度普及に移す成果」

品質・収量に優れるセンリョウの新品種 「紅珠」「黄珠」(品種登録出願公表中)

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター
鹿島地帯特産指導所

本県のセンリョウは東京中央卸売市場で全国シェアの約60%を占め、全国的にも圧倒的な占有率を誇ります。全国一の生産県の位置を確保し、有利販売を進めていくため、収量・品質に優れる県オリジナル品種を育成しました。

品種の特性

「紅珠」(コウジュ:赤実系)、「黄珠」(オウジュ:黄実系)は形質に優れる現地在来品種を、選抜育種により育成した品種です。(写真)。ともに、特性が安定した固定品種です。

現地試験での収穫調査では、「紅珠」は積算可販枝数が多く、房数が多い赤色実の品種で(表1)、「黄珠」は積算可販枝数が多い黄色実の品種です(表1)。ともに収量性が高く、上位等級の発生が多い品種です。



「紅珠」(左)、「黄珠」(右)

表1. 現地試験における収穫調査

品種名	実の色	H18~21年 積算可販 枝数(本/株)	可販 枝長(cm)	房数 (房/枝)	シュート数 (本/株)	地際 芽数 (本/株)	地際芽 +シュート数 (本/株)
紅珠 在来種	赤	9.7 7.2	91.0 86.0	6.1 5.0	1.3 1.6	1.3 1.0	2.6 2.6
黄珠 在来種	黄	8.0 5.8	89.8 87.3	5.3 4.7	1.7 1.5	3.9 2.5	5.6 4.0

生産者評価及び市場評価

生産者評価では、「紅珠」「黄珠」とともに、在来種より房数、実付きが良いことから、高い評価を得ました(表2)。

市場評価では、「紅珠」「黄珠」とともに、商品性の評価が高く、上位等級品としての有利販売が可能です。

表2. 生産者評価¹⁾

品種名	実の色	総合 評価	実			葉の色つや	樹形等	
			房数	実付き	大きさ		樹高	硬さ
紅珠 在来種	赤	2.3 1.5	2.5 2.0	2.5 2.0	2.4 2.2	1.4 1.6	2.3 2.1	2.0 2.0
黄珠 在来種	黄	2.0 1.0	2.0 1.2	2.0 1.0	2.0 1.5	2.1 2.2	2.1 1.5	2.3 2.0

¹⁾ 評価の点数は、1:悪い、2:良い、3:非常によい(評価者数14名)。

栽培上の留意点

- 高付加価値を目的とした品種ですので、剪定や追肥などの基礎的な栽培管理は、適期に確実に行うようにしてください。